

事業報告

令和4年度 第2回地域学校協働活動関係者研修【県央地区】

日時：令和5年1月31日（火）13:15～15:45

会場：はさま未来館 2階大研修室 参加者24名（6市町村）

<研修趣旨>

「協育」ネットワークを基盤とした地域学校協働活動を実現するため、学校と地域の相互理解の重要性や相乗効果について理解し、活動の推進と活性化に向けた具体的な方策や学びが得られる場とする。

<研修内容>



【開会行事】開会あいさつ
大分県教育庁社会教育課課長 森山 貴仁



市町村参加者24名
6市町（豊後高田市・別府市・日出町・大分市・臼杵市・由布市）

【授業参観】 地域学校協働活動の実践事例
由布市立石城小学校4年
総合的な学習の時間
「地域の産業を学ぼう！」（授業録画）
解説：園田 暁子 氏



石城小学校4年生11名が、近くにある（株）デンケン高崎工場に出向き、社員の皆様のご指導により、以下の学習を行いました。研修会ではその様子（録画）を放映しました。

・環境教育 ・太陽電池の実験 ・ソーラーカー製作・試走 （インタビュー）

<デンケン 部長の言葉から（インタビュー）>

- ・小学生に科学の楽しさ、ものづくりの面白さを知って欲しい。学校でなく現場でふれ、働いている人達の表情を見て欲しい。大人とのふれあいもできる。
- ・（各地に）協力してくれる企業はたくさんあるが、声がかからない。声かけというチャレンジはやっていいのかなと思う。

【全体協議】

＜協議テーマ＞

「将来の地域の担い手を育てる地域学校協働活動はどうあればよいか」

～狭間中学校区における地域学校協働活動について～

説明①

由布市教育委員会学校教育課

参事兼指導主事 麻生 久 氏

説明②

狭間中学校区

地域学校協働活動推進員 園田 暁子 氏

全体協議では、麻生参事兼指導主事からは由布市教育委員会としての取組事例について、園田推進員からは狭間地区における地域学校協働活動推進員として学校にどのように関わることについての詳細が紹介されました。



由布市教育委員会学校教育課
参事兼指導主事 麻生 久 氏



狭間中学校区
地域学校協働活動推進員 園田 暁子 氏



由布市立石城小学校
校長 小林 年晴 氏



<参加者感想>

- 園田さんの発表、とても元気になり、頑張ろうと思いました。「由布学」の事が良くわかりました。
- 企業と学校をつなぐことで、相互にとって教育の場となることに感銘を受けました。コミュニケーションを大事にしていきたい。
- 今日のテーマが「将来の地域の担い手を育てる地域学校協働活動」ということでしたが、本市は少子化で今後の人口減少の課題に直面しています。10年度には児童生徒数が今の2/3～1/2になり、学校の統廃合が加速化しそうです。そんな中、若い世代を地元につなぎとめる「地域学校協働活動」はどうあるべきか？何をを目指すのか？今模索している最中です。
- 地域で働く方との体験を通しての「理解」と座学での「理解」は違う。活きた学びの大切さを改めて感じました。
- 「ふるさとと自分の未来を考える」これが1番の学びとなりました。
- 長時間の動画視聴なら、もう少し音の調整をしていただくと見やすいと思いました。
- デンケンでの勉強⇒マスクのせいかな？良く聞き取れなかった。せっかくの授業が残念でした。
- デンケンさんの動画内容は良かったのですが、動画がみにくくて残念でした。